

舌癌の手術のため、当院に入院・通院された患者さんの診療情報 を用いた医学系研究に対するご協力をお願い

研究責任者	所属 <u>歯科・口腔外科</u> 職名 <u>専任講師</u> 氏名 <u>筋生田 整治</u> 連絡先電話番号 <u>03-5363-3831</u>
実務責任者	所属 <u>歯科・口腔外科</u> 職名 <u>専任講師</u> 氏名 <u>筋生田 整治</u> 連絡先電話番号 <u>03-5363-3831</u>

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院された患者さんの診療情報を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦 2012 年 9 月 1 日より 2018 年 4 月 30 日までの間に、慶應義塾大学病院歯科・口腔外科にて舌癌の治療のため入院し、切除手術を受けた方

2 研究課題名

承認番号 20200297

研究課題名 舌癌手術時の検体を用いた迅速病理診断と手術精度の検討

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室・慶應義塾大学病院歯科・口腔外科

4 本研究の意義、目的、方法

当科では舌癌の手術時に、切除が想定される範囲の外周を病理組織検査に提出し、癌細胞がないことを確認（術中迅速診断）しながら手術を実施しています。術中迅速診断では術後の病理組織診断（最終病理診断）と比較すると、診断精度が異なることがあります。そのため、術中迅速診断で得られた病理組織検査の結果と、術後に得られた病理組織検査の結果を比較し、その診断精度を確認し、さらに術後の患者さんの経過を合わせて比較検討することを目的としました。方法は、手術

の際に切除した検体の病理結果を術中迅速診断・最終病理診断と比較し、さらに患者さんの経過状況を比較検討します。

5 協力をお願いする内容

診療録の閲覧と、当院で作成されたプレパラートを使用し、それぞれを患者様の手術で切除された組織を顕微鏡により観察させて頂くことに対するご了承をお願いします。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2026年1月31日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、患者番号、生年月日のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した切除検体を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、診療情報の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

対応者の氏名：宗像花楠子

所属：慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室

連絡先：Tel 03-5363-3831（医局直通）

Fax 03-3357-1593

対応する時間帯：9時00分～17時00分

以上